

jumper

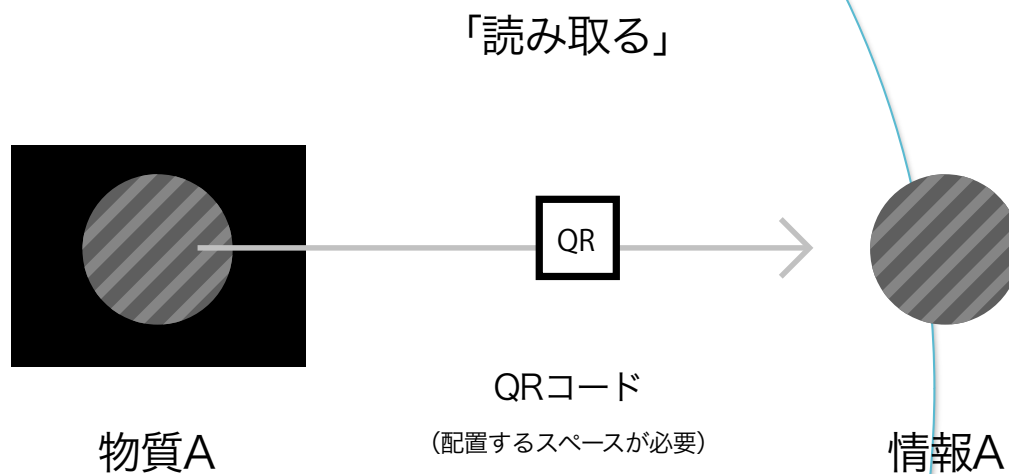


jumper

jumper（じゃんぱー）は、
誰でも登録できる画像認識プラットフォームです。
雑誌に掲載している広告から直接ウェブサイトに誘導することや
街中にある屋外広告を見つけることでポイントを付与する。
会社のロゴを写すとFacebookページにいいね！させる。
などリアルをデジタルに直接結びつけるお手伝いを致します。

従来の情報を「読み取る」という行為について jumper

物質と情報を紐付ける手段としてQRコードをトリガーとして、読み取るという行為が主流でした。
コードには配置する物理的スペースと情報にたどり着くまでのコードを「読み取る」というステップが必要でした。



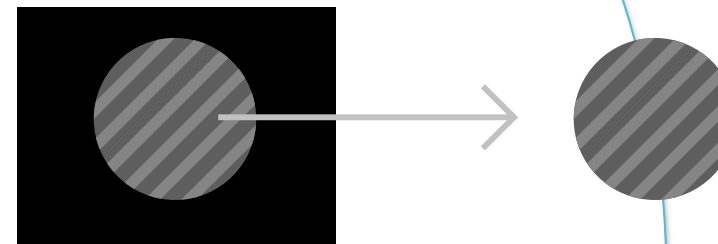
「読み取る」という行為に代わるもの

jumper

本サービスの場合はコードは必要ありません。
写真そのものをトリガーとすることで、
物質Aから直接情報そのものを「切り取る」ことが可能になります。



「(情報を) 切り取る」



物質A

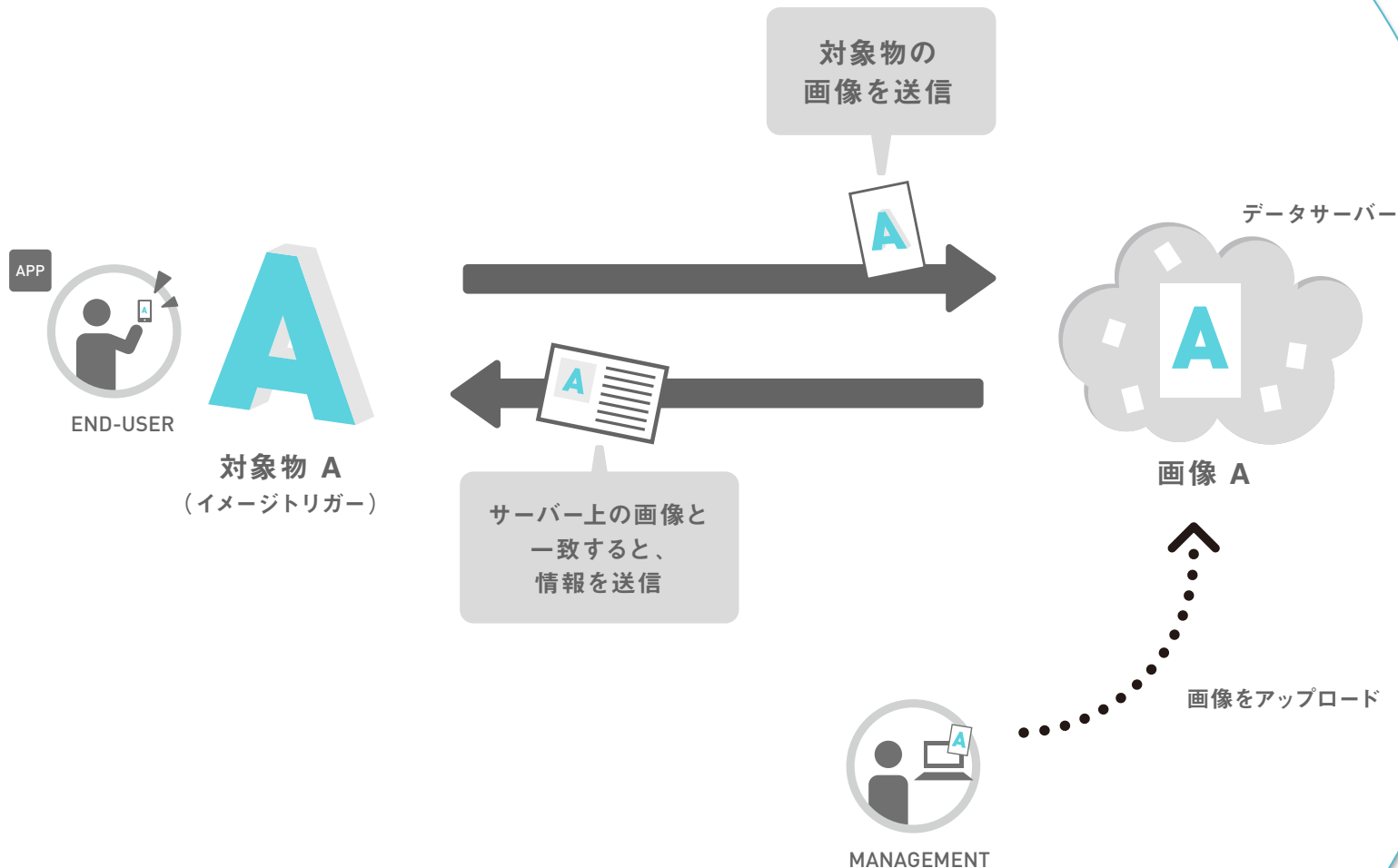
情報A

参考資料：SIGHT SYSTEM CONCEPT

<http://vimeo.com/46304267#>

jumperは誰でも登録できるプラットフォーム jumper

これまで画像認識技術を使ったキャンペーンを展開する際に、専用アプリを作らなければなりませんでしたが、jumperでは、ユーザーが無料のアカウントを作成すれば、誰でも画像登録とその画像を読み込んだときに起こるアクションを管理することができる画像認識プラットフォームです。



画像から指定したアクションへ

jumper

Step1.画像を認識させる。



Step2.設定されたアクションが起きる。

Action



掲載イメージ

メイン画面



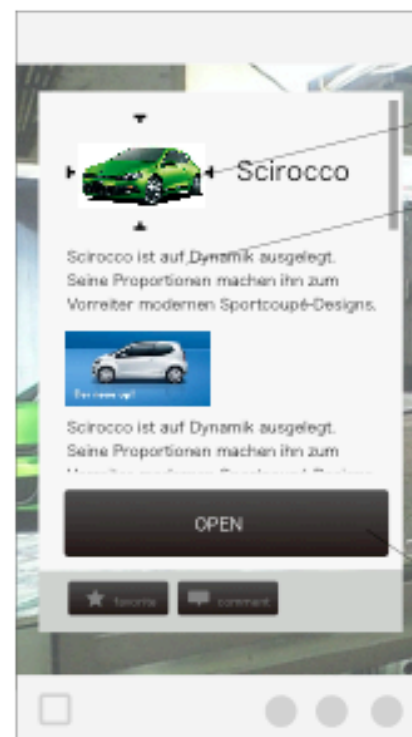
カメラアプリ同様、
アプリ立ち上げ～操作画面までは
最短距離で展開します。

画像認識



認識結果表示画面

画像認識後は、結果を元に
アプリ内でさまざまなフローが考えられます

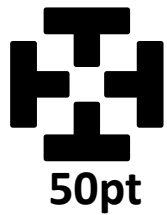
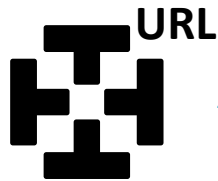
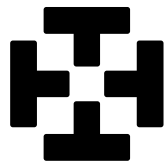


管理者側が設定した画像

付随した情報
インフォメーション以外にも
プロモーションやクーポンとして
使用することも可能か

指定URLへジャンプ

何がjumperできる画像なのかをユーザーに認識してもらうために改変自由なロゴを提供します。



掲載イメージ